

はちもりつばきかいがんちゅうようせつ り ぐん
八森 椿 海岸柱状節理群

- 1 種 別 天然記念物（地質鉱物）
- 2 名 称 八森椿海岸柱状節理群
- 3 面 積 991.74m²
- 4 所 在 地 山本郡八峰町八森字椿196－1 先
- 5 所 有 者 国（農林水産省）
- 6 説 明

八森椿海岸柱状節理群は、八峰町八森にある椿漁港の北西部に隣接する岩体に発達した柱状節理群である。岩体は、長さ約94m、幅約16mの細長い地形で半島状に海に突き出ている。火山岩の一種である安山岩あんざんがんからなり、溶岩が流れた様子をとどめている。ここで見られる安山岩は藤里町から八峰町にかけて分布している素波里安山岩すばりあんざんがんである。

柱状節理とは岩体に規則的な柱状の割れ目が生じた状態をいい、六角柱状や五角柱状のものが多いが四角柱状、三角柱状のものも見られる。溶岩が冷却固結する際に体積が収縮して形成されたもので、溶岩の冷却面と垂直に発達している。

八森椿海岸柱状節理群は大部分が海に接しており、柱状節理が露出した状態で見られ、大きな亀裂による断面や側面など様々な角度から柱状節理を観察することができる。このように柱状節理の立体構造が観察できる岩体は、県内では他に見ることができず、学術上きわめて貴重である。

参考

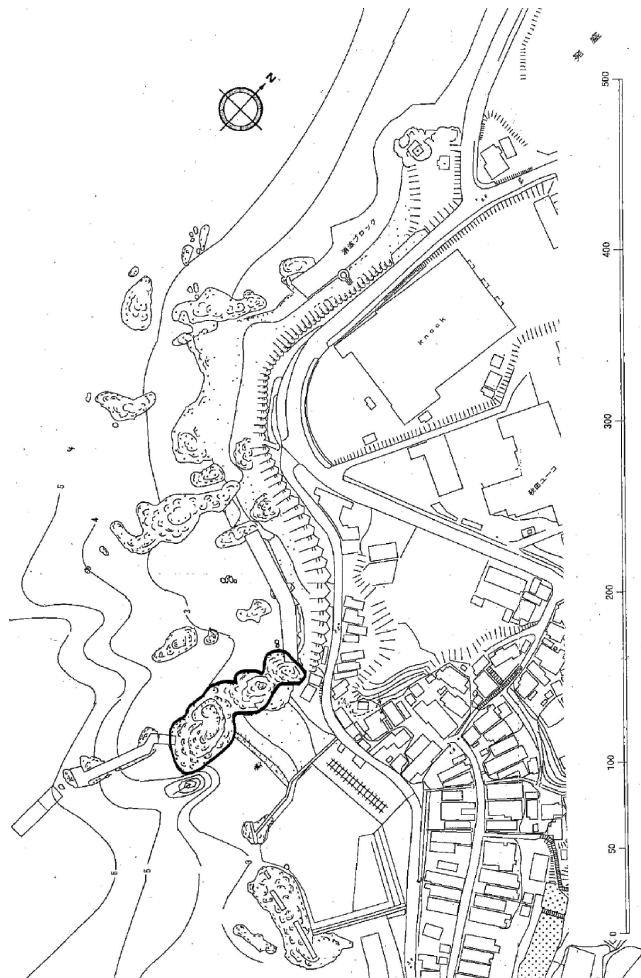
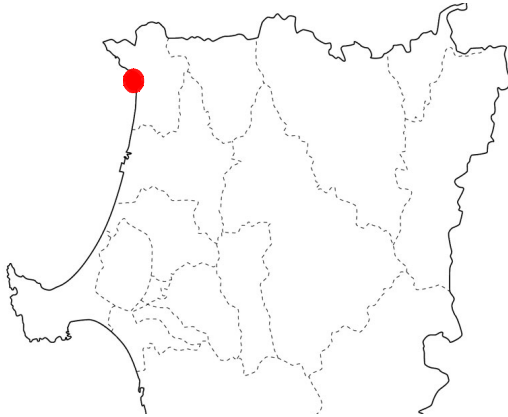
八峰町指定天然記念物「椿海岸柱状節理」 平成24年(2012)11月8日

日本ジオパーク認定「八峰白神ジオパーク」 平成24年(2012)9月24日





○八森椿海岸柱状節理群 位置図



○ 指定範囲